鳥栖公民

第19号　昭和31年10月15日　発行

発行所　鳥栖市中央公民館　佐賀県鳥栖市　電話(代)2136番

発行人　藤原權　発行兼編集人　松浪俊雄　印刷人　倉田哲夫

巻頭言

保育所と幼稚園

保育所は〝家庭において親から当然うけることのできる保護養育に欠けた児童〟で満一才から就学期までの子供を対象とし、市立と私立があるが、それぞれ一定額の国庫補助が交付される。保育料はその家庭の負担能力に応じて徴収され、保育時間は一日八時間。

幼稚園は、就学前の児童に対する幼稚園教育のための施設で、通常に伴う経費には補助はなく、従って月謝により一日五時間前後。

追加予算など十五議案を可決

「財政再建計画」策定成る

……九月定例市議会のあらまし……

▽九月定例鳥栖市議会は九月二十七日招集、西口市長、宮原教育長△▽の一般報告と質疑応答の後、議案の審議に入り十月三日、会期七△▽日間をもって閉会、提議審議となった簡易水道計画条例を残し全△▽十五議案を可決した。なお、議員の出席は最終本会議において一△▽名の欠席をみたのは本会議、委員会とも全員出席したが、傍聴△▽席は相変らず閑散で初日に三、四人の婦人傍聴者が見かけられた△▽主なる議決の大要次の通り。

新教育委員四氏を任命

新発足による教育委員会委員に、元鳥栖小学校長、佐賀家庭裁判所調停委員、鳥栖町東町

赤字解消に全力

昭和二十九年新市発足後、頓挫繰延の新設改良をはじめ学校の増改築、災害復旧ならびに消防施設の整備などの事業が山積したため市の財政規模を上まわる事業を行ったことから、昨年度末において二千百十八万円の赤字を生ずるに至った。

一、三一五万円余を追加

昭和三十一年度の現在までの予算額一億九千六百六十一万五千余円に対して、十月一日から全面的に施行されました新教育委員会法に就任に当り所感の一端を申述べます。

A、子弟の家庭指導について

新教育の二つの盲点は、いわゆる基礎学力の低下と道徳教育の不振であります。そのように来たるところを深く省察すると、その責任の一半が教育者の不備に存することを否定するものではありませんが、これら二つの問題は、学校の教育力の限界をはるかに超えた、古い社会秩序に対して、新しい社会秩序の建設が要望され、傳統的な道徳律と新しい道徳的価値との過渡期としての現実の社会において矛盾を解消させて、無駄な間と労力の節減に寄与するものであります。このれは、学校の力のみに依存することなく、深い理解と協力による家庭の様と共に、予復習を学校と共に、子弟の家庭学習の習慣化を図ることは、事務の簡素化だけでなく、毎年繰返される、今回はからずも一日の十月一日から、新教育委員会の新発足にあたり

健康家庭や優良部落を表彰

納税率最高は九八・八パーセント（飯田）

国民健康保険

鳥栖市民生課では昭和三十年度の国民健康保険健康家庭並びに保険税納税優良部落を次の通り選定、来る十月十九日午後一時から商工会議所で表彰式を行う。

▽江島＝渡辺栄一、寺崎時一郎▽大郎＝倭徳＝小林末吉、古沢はし子、橋尾シヅ▼優良部落（保険税納税率九割以上）かつこ内は納税率）▲飯田（九八・八パーセント）▲潤井東（九五・八パーセント）▲潤井西（九二・三パーセント）

分校竣工にあたって

鳥栖小PTA会長　水田安市

鳥栖小学校本校の川西の廊から二隻目の校舎は、明治三十三年の建築と聞いております。数えて見ると五十有七年を経過した老朽で、それに婦人会員のメンバーで募金に当り、町内有志の絶大な御支援をいただいたわけであります。

特に用地に対しては、地主さんのご理解のもとに着々と進行、今年一月二十九日に起工、五月十九日に竣工をみて地域児童三年生まで約六百五十名を収容することを得ました。

去る二十五日には県及び市その他の関係者を迎え、ささやかな式典を挙行して頂きましたが、ここに紙上を借りまして鳥栖市民の皆さんに厚く御礼申上げる次第であります。

御寄附をお願いせねばならなくなり、そのために鳥栖小学校建設期成同盟会を作り区長、小中のPTA役員、小学校職員が協力、町内有志の御寄附をお願いしたのであります。

なお、残された計画の第二小学校として独立できますように切にお願い申上げ、ご理解を得られ、完全な鳥栖小学校として独立できますように切にお願い申上げて感謝のごあいさつと致します。

鳥栖―福岡即時通話成る

去る五月の自動電話改式、久留米との即時通話開始に続いて十月一日から福岡との即時通話が開通した。このため鳥栖電報電話局では九月二十八日、各利用者代表立会のもとに試験通話を行った。（写真は奥村福岡市長と通話する福口市市長、最前端）

〝老人扱いは迷惑〟

各地で敬老会ひらく

去る九月十五日、老人の日を迎えた鳥栖市内の老人（満七〇才以上）は男五三〇人、女八三三人、計一・三六三人で、最高齢者は飛町山洞の古沢ミヅさんで文久二年生れの九三才。男では基里堤町の松浅源太郎さんで九二才の元治元年生れ。なお、このうち八八才の米寿を迎えた人が九名、九〇才以上の人が六名である。

鳥栖市では昨年の例により各部落単位で適当な日取りを選定、敬老会を行ったが、或る部落の敬老会の老人代表のあいさつに「敬老会のケイローという言葉の中には、年寄りの冷水一年寄りは引込めというような意味が感じられる。平均寿命もグンと長くなったし中にはまだ青年にも劣らぬ元気な人もいるのに、この〝老々〟という字は、いたづらに老人扱いをされるような気がする。今後は敬老会と呼ぶのを止めて敬愛会としてもしてもらえないだろうか」と元気のよいところをブツて万場の拍手を浴びた。

（写真は新風劇場における鳥栖町三区の敬老会）

広報車〝こだま〟を配置

鳥栖市ではこのほど広報車（四五万円）放送施設ほか（一五万余円）を導入、命名して教育委員会に配置した。

各種催しや緊急な場合の広報宣伝に活躍することはもちろん映写会や講習会など部落の巡回教育（写真はこだま号）に利用されている。

市議さんの野球

去る十月三日、議会閉会後奇数偶数に分れて議員さんの野球試合が鳥栖中で行われたが、迫力、珍プレーのあと結局15対8で偶数組が勝った。

市民の声

火災の常時監視所を設けよ

今年も各地はたがわずやってきた。九号に続いて十二号も物凄く、一瞬も世を安心出来ない。風害より火災の危険にさらされるからである。火事は、一人の不注意から多くの人命を失ってしまう。鳥栖は最近大きい。鳥栖は最近全国的に見類のないことである。

油断は物である。一度、「火事だ」と気付いて消防にうんぬんといったところで現在の市財政ではすぐとりかゝれない。一瞬にして火災報知連絡があってからでは遅い。火事は忘れた頃に来て消防にやってくる。一のたとえ通り一瞬もおろそかにはできないと思う。

そのための望楼設備と消防ポンプ並びに器具の大増加は絶対必要である。

鳥栖市はこんにち防火施設に完璧とはいえない。ここに消防設備を早急に整備し、火災の常時監視所を設けよ。

監視員の被服や特別給与の負担があったとしても、一人の監視員の観線は、市民一般の安寧と信頼の中に生活の安らかであろう。

市当局者の速かな決断を望むものである。

（鳥栖西町一市民）

◇お答え◇

相次ぐ大火の多い今日、金く時宜を得た御警告と、ご忠言ちょうどもっともだと存じます。

お答えのついでに、「火災がどういう方法で知られたか」ということを二十九年度の全国統計から拾ってみますと、問題の火災発生二二・六、八件のうち専用電話による件数が三七・四%で、一位、駅けつけ通報が一八・二%、一般加入電話一七・九%でそれぞれ指摘の八・六%、次が飯田の七・〇%、その他の順となっております。

以上から考えられることは、全体の七三・五%は駆けつけ等を含む電話通報で知らされており、今まで鳥栖市内の場合でも殆んどがそうです。

もち論、おつしやるように望楼を多く作ることは緊要なことですから、今後市の財政事情が許せば、望楼に限らずあらゆる防火設備の充実に努力したいと存じます。

（消防課）

私たちの学校

鳥栖小三年三組　内藤久美子

私たちの学校は今年の五月に出来たばかりの新しい学校です。この学校が出来ていなかったころは、本校にかよっていました。

本校はとてもよおくて、つゆのころは長い田んぼ道がぐちゃぐちゃで、長ぐつをぬいでかよいました。

私たちの学校はとてもきれいです。教室は広くて明るく、学校まで一時間いじょうもかかってとてもこまりました。でも分校が出来てからは家から五分もかかりません。近いのでレインコートもいらなくなりました。

私たちの学校はとてもきれいです。教室は広くて明るく、黒ばんはずっしまるくて、どのせきからもよく見えるようになっています。どの教室にもドアがあって土間ろうそくに出られます。広いろうそくには、教室ごとに水道がついています。

三年生が一ばん上級生なので私たちは、いろいろなしごとがあります。週番もあります。一年生で学校のことを、二年生で学校のことを、三年生で学校のことを、おそそうじも大へんです。

私たちの教室はとたりろう下、おべんじょと一年生の教室です。

でも私たちは、いつしようけんめいにします。私たちは、二年生のお手本になるように、しつかり勉強して、新しい学校をいつまでもきれいにして行きたいと思います。

〝島栖文学〟休刊

昭和二十九年四月、市発足と共に生れた島栖文学誌〝島栖文学〟を刊行してきた所、諸事情が許せば、望楼のためにこのほど休刊、再起をはかることになった。

おことわり

今回は一面「広場」欄は休載、次号は四頁をもつて十一月上旬発行の予定です

原始時代の鳥栖②

松尾禎作

前号のあらまし

今から何十万年か前の大昔、九州は今の筑後川上流に寄と北の二つの島に分れていたといわれる。北の島の海岸ぞいに位していた島栖地方は、今でも当時の堆岩の一種といわれる粗石が出ることがある。

今から四・五千年前のじようもん（縄文）文化の新石器時代になると、田代地方にハッキリした古代人の住居跡や遺物が発見される二千年前の弥生（やよい）式時代になると、大陸から農耕も傳わり金属器等も使って、集団としての生活を営むようになった。

住居はやはり竪穴（じようもん）文化の新石器時代と同じく竪穴（たてあな）住居で、住居の縁辺に清水の出るような所があると、必ずそこにこの時代の遺跡が発見されます。

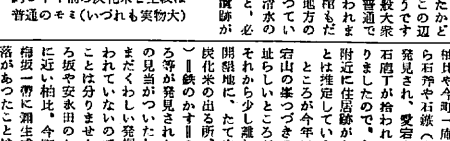
丘陵の緩辺に清水の出るような所があると、必ずそこにこの時代の遺跡が発見されます。

宮山の峯つづきの丘に製鉄址らしいところが発見されそれから少し離れた橋坂の開墾地に、たて穴住居址や炭化米の出る所、鉄滓（しゅう）鉄のかす）が出ると、ころ等が発見されたのでこの大体のことは分ってきたわけです。

まだくわしい発掘調査が行われていないのが、うつろ坂や安永田のかめ甕地域に近い柏比、今町、平原、梅坂一帯に潤生式時代の集落があったことは確かです。

（次号は茶里町方面の遺跡）

（筆者は県文化財専門委員、鳥栖市史編さん委員）



写真下段は田代梅坂から出た約2千年前の炭化米と上段は普通のモミ（いづれも実物大）

柚比東方　彌生式時代の遺跡

（約二千年前）

この遺跡は田代町綾野安永田から今町平原柏比附近にかけての大遺跡で、四十余年前故中山平次郎博士や京都大学島田貞彦氏、谷井清氏等が注目され、学界に発表されて有名になったのですが、すでに鎌倉時代に書かれた梅尾文書（とがのお）によれば、田代の永瀬正雅氏が古くから鋼鉄を持っていると書いてありますので、おそらくこの地域から出たものでしょう。

大正二年五月、耕地整理の際一町歩内外の所の地下二―三尺の深さから数十個の合口かめ棺が発見され、その中の一つから「グリス型銅ぢこ」一口（真京博物館蔵）に柴墳を伴つたものを出し、また現に鉄鋼二口を得たとあります。この安永田の地域は集団墓域であつたと思われます。後年原史時代に大前方後円墳群や装飾墳けこの附近に築かれたのもその故でしょう。

では、この第団墓を作つた人々の生活の本拠とみなわち郷土式集落は一体どこにあつたのでしょうか。今まで舶比や今町一庭山附近等から石斧や石鏃（やじり）が発見され、愛宕山西北から石磨丁が拾われたことがあり、また、田代の永瀬正雅氏が発見したので、きつとこの附近に住居跡があるだろうとは推定していました。

ところが今年になつて愛宕山の西北の丘に製鉄址らしいところが発見されそれから少し離れた橋坂の開墾地に、たて穴住居址や炭化米の出る所、鉄滓（しゅう）鉄のかす）が出ると、ころ等が発見されたのでこの大体のことは分ってきたわけです。

まだくわしい発掘調査が行われていないのが、うつろ坂や安永田のかめ甕地域に近い柏比、今町、平原、梅坂一帯に潤生式時代の集落があったことは確かです。

（次号は茶里町方面の遺跡）

（筆者は県文化財専門委員、鳥栖市史編さん委員）

郷土史料

シリーズ第四集を刊行

市史編さん委員で統刊中の郷土史料シリーズ第四集が注目され、学界に発表されて有名になったのですが、すでに鎌倉時代に書かれた梅尾文書（とがのお）によれば、田代の永瀬正雅氏が古くから鋼鉄を持っていると書いてありますので、おそらくこの地域から出たもの

一、寄附物件
旭町幸津公民館（木造瓦ぶき平屋建一棟、建坪六十六坪）見積金額百五十万円、設計図面仕様書添附
昭和三十一年九月二十六日
ブリヂストンタイヤ株式会社
代表取締役　石橋正二郎様

一金　二十万円
旭小学校水道設備並に旭町公民館用暖房施設費
昭和三十一年九月十七日
旭小学校PTA会長　池尻　昭様

寄附紹介

市史編さん委員で統刊中の郷土史料シリーズ第四集が注目され、学界に発表されて有名になったのですが、すでに鎌倉時代に書かれた梅尾文書（とがのお）によれば、田代の永瀬正雅氏が古くから鋼鉄を持っていると書いてありますので、おそらくこの地域から出たもの